



Real Prep.使用時の失敗を最小限に抑える方法

Real Prep.を使っているとき、設定したしきい値までCT値が上がらず撮影が始まらなかった経験はありませんか？今回はそんな場合に失敗を最小限に抑える方法をいくつかご紹介します。

■ Real Prep.の曝射時間を長めに設定しておく

そもそもReal Prep.の曝射時間が足りない場合には、[スキャン詳細]タブ内の『撮影時間』に大きい数値を入力しておきましょう。

ただし、曝射時間の限界は100秒未満（一部装置は50秒未満）です。



■ [次スキャン開始]ボタンで強制的に本スキャンをスタートさせる

しきい値までCT値が上がりそうだけどReal Prep.も終わりそうなときは[次スキャン開始]を押すと、オートスタートの設定でも強制的に撮影を始めさせることができます。撮影開始タイミングを数秒調整したい場合はキーボードのトークボタンが有効です。タイミングを計り、【トークボタン】を離すと、撮影が始まります。

※前音声は出ませんので、必要なときはマイクにて息止めアナウンスを行ってください。



※上記はAquilione V8.3での画面で、装置・バージョンにより操作が異なる場合がございます。ご使用の装置での操作に関してはキヤノンCTアプリケーション担当までお問い合わせください。



Real Prep.使用時の失敗を最小限に抑える方法

■ Real Prep.直後のスキヤンの『開始時間』を入力して制御する

Real Prep.直後のスキヤン行の『開始時間』へ数値を入力しておくことで、Real Prep.が終わってしまっても自動的に本スキヤンを撮影開始させることができます。

No.	開始	開始時間	休止時間	開始位置	終了位置	スキヤンモード	スキャン数	kV	mA	D-FOV (G-FOV)	スキャン速度 (Total秒)	撮影スライス厚 (mm)	範囲	スキャン移動量 (mm)	CE
1	P	***	***	00	13000	Scano		120	30				13000		
2	P	***	00	5000	5000	S&V	1	120	50	3200 (M)	0.5 (0.5)	0.5 (2.0)	2.0	IN 5000	
3	P	***	15.0	***	***	RealPrep	1	120	50	3200 (M)	0.5 (0.0)	0.5 (2.0)	2.0	***	ON
4	A	0048.0	***	00	10000	GG-Hel	1	120	R ***	3200 (M)	0.5 (2.0)	0.5 (4.0)	10000	00	ON

※一部のソフトウェアでは自動的に本スキヤンが始まらず、スキャン開始キーが点灯した状態で停止するものがあります。必ず動作確認してから検査に使いましょう！

■ Real Prep.が終わってしまったら・・・

Real Prep.直後のスキヤン行の『開始時間』に数字を入力しなかったときは曝射時間を越えると、キーボードのスキャン開始キーが光った状態で停止します。これを押すと、すぐにまたReal Prep.を始めることができます。

このときReal Prep.を再開せずに本スキヤンへ撮影を進める場合には、

- ① [Quit Real Prep] をクリック
- ② 「休止時間」の数字を0に変更
- ③ [Confirm] をクリック

の手順に進めましょう。

No.	開始	開始時間	休止時間	開始位置	終了位置	スキヤンモード	スキャン数	kV	mA	D-FOV (G-FOV)	スキャン速度 (Total秒)	撮影スライス厚 (mm)	範囲	スキャン移動量 (mm)	CE
1	P	***	00	-1080	-1080	S&V	1	120	50	3200 (M)	0.5 (0.5)	0.5 (2.0)	2.0	IN 10000	
2	P	***	00	-1080	-1080	RealPrep	1	120	50	3200 (M)	0.5 (10.0)	0.5 (2.0)	2.0	IN 10000	ON
3	A	15.0	00	-380	-380	GG-Hel	1	120	100	3200 (M)	0.5 (3.5)	0.5 (4.0)	1700	IN 2500	ON

※上記はAquilionONE V8.3での画面で、装置・バージョンにより操作が異なる場合がございます。ご使用の装置での操作に関してはキヤノンCTアプリケーション担当までお問い合わせください。